

令和3年度 環境保全報告書

富士チタン工業株式会社
神戸工場

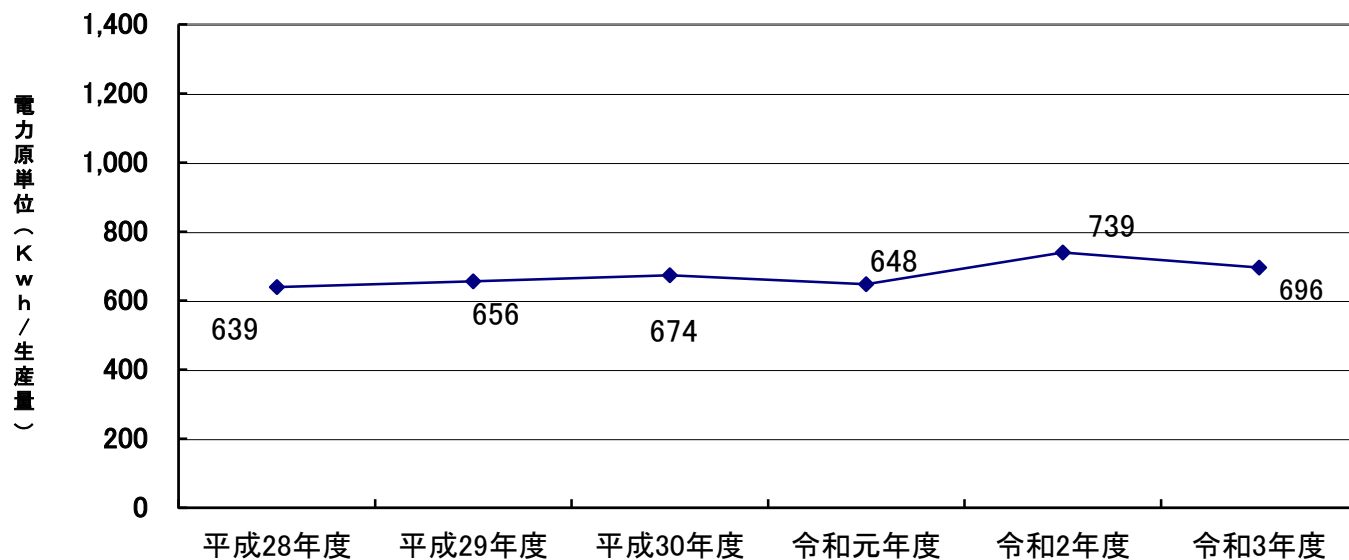
- 重点目標の実施状況
 - 省エネルギーの推進
 - 廃棄物の減量化の推進
- 公害防止対策に係る報告
 - 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策
 - 公害防止対策に係る調査・測定結果
- 公害防止対策以外の環境保全活動に係る報告

令和4年6月9日

1. 重点目標の実施状況

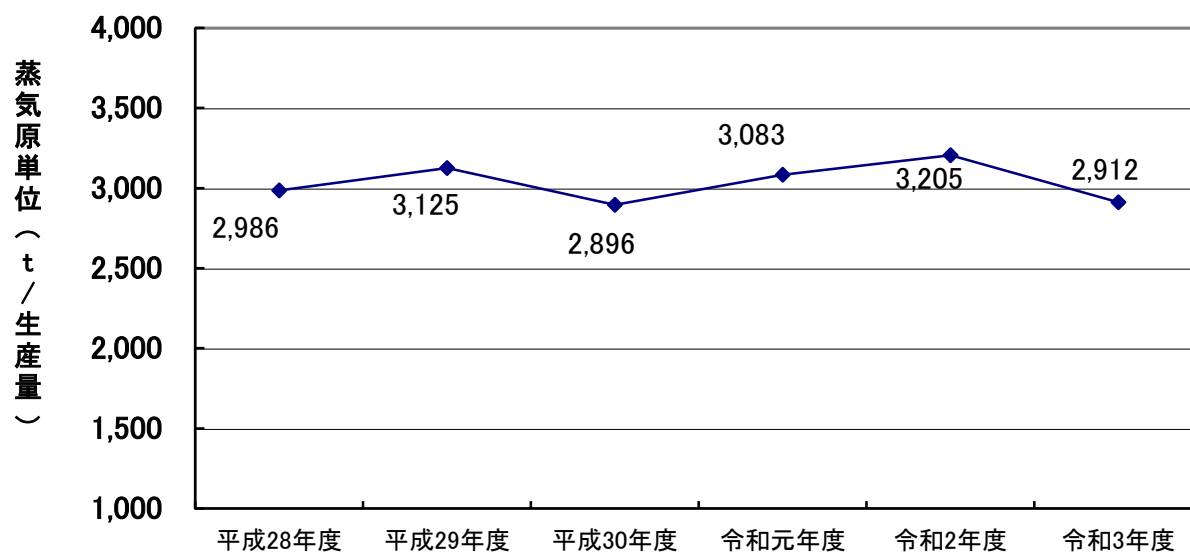
1) 省エネルギーの推進

①電力原単位実績推移



※令和3年度の電力原単位低下は、昨年度より生産量をアップしたことで効率運転ができたことによる。

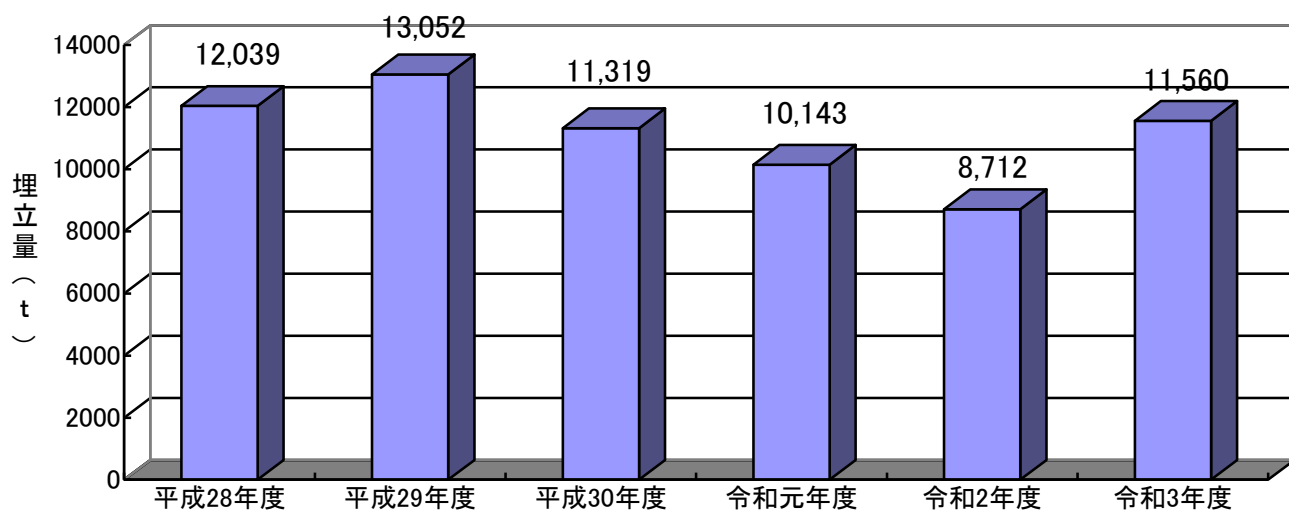
②蒸気原単位実績推移



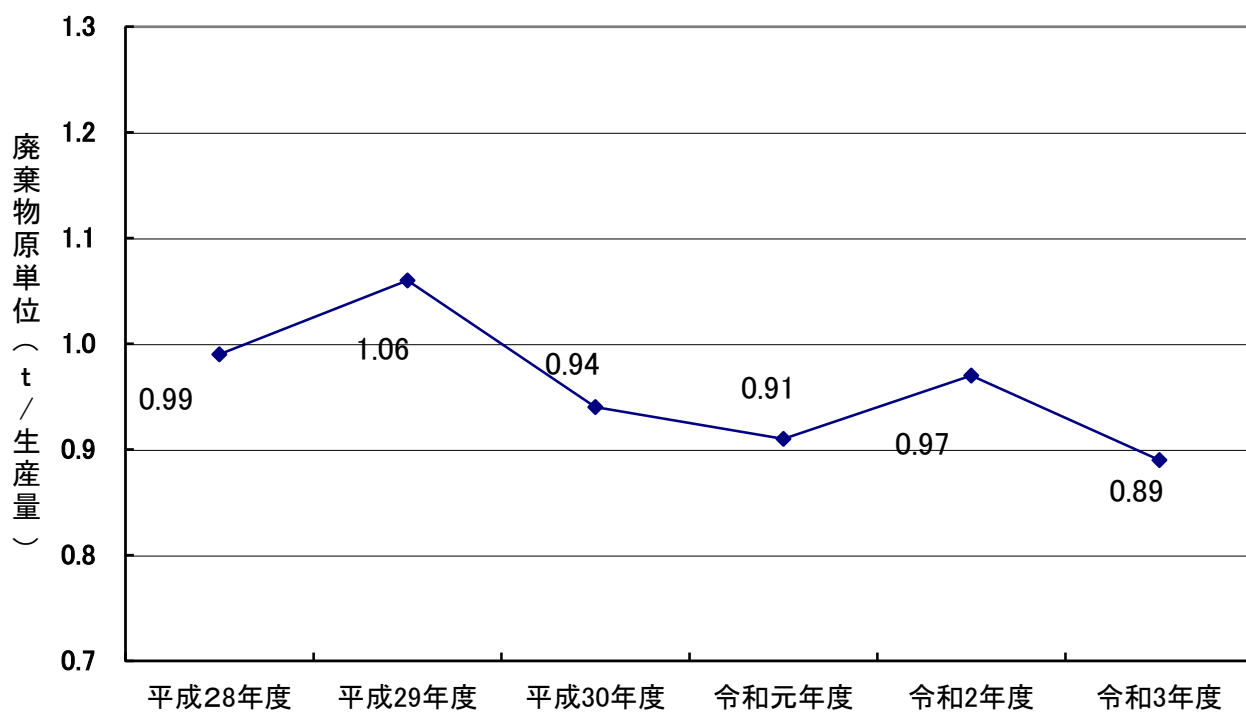
※令和3年度の蒸気原単位低下は、昨年度より生産量をアップしたことで効率運転ができたことによる。

2) 廃棄物の減量化の推進

① 廃棄物埋立量推移



② 廃棄物原単位実績推移



2. 公害防止対策に係る報告

1) 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成の措置・対策
大気 防止 汚染 対策	ばい煙（いおう酸化物、ばいじん、窒素酸化物）、有害大気汚染物質排出規制の遵守	排ガス処理施設の維持管理により遵守できた。	<ul style="list-style-type: none"> ◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、目標値の遵守状況を確認した。 ◆月1回SO₂計の校正を実施した。 ◆年1回SO₂計の定期検査を実施した。
水質 防止 汚濁 対策	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	排出水の水質は基準値以下で管理できた。また汚濁負荷の総量についても基準値以下で管理できた。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、目標値の遵守状況を確認した。
	富栄養化防止対策の推進（窒素・燐の排出量の削減）	COD・窒素・燐の排出にかかる目標値において、基準値以下で管理できた。	◆水質自動測定装置で連続測定にて監視を行い基準値以下で管理した。
騒音・ 振動 防止 対策	「騒音規制法」及び、「兵庫県条例」に定める基準の遵守	令和3年度は、騒音に対する地域クレームは発生しなかった。	◆騒音発生機械の定期的点検を実施した。
悪臭 防止 対策	「悪臭防止法」及び、「兵庫県条例」に定める基準の遵守	令和3年度は悪臭に関する地域クレームは発生しなかった。	◆排ガス洗浄設備の定期的な点検整備を行い、洗浄水等の日常管理を行った。
産業 廃棄物 対策	<ul style="list-style-type: none"> ①「廃棄物処理法」に基づき適正管理を行う。 ②廃棄物の発生量を抑制する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①マニフェストにより廃棄物の適正処理を行った。 ②原単位は前年度比で0.08ポイント改善した。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆工程ロス等の低減等の対策を行った。 ◆廃棄物の分別と適正廃棄を実施した。

2) 公害防止対策に係る調査・測定結果

①大気汚染物質の年間総排出量の把握

	令和3年度目標値	令和3年度実績値
いおう酸化物	4.3ト/年以下	6.7ト/年
ばいじん	87Kg/年以下	55Kg/年
窒素酸化物	13.60ト/年以下	11.83ト/年

※いおう酸化物の増加は令和3年度の生産量が令和2年度より、1.4倍アップしたことによる。

②地球温暖化防止対策（CO₂排出量の把握）

※ 平成2年（1990年：京都議定書制定）：CO₂削減の基準年

	平成2年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)	令和2年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)	令和3年度 CO ₂ 排出量 (T-CO ₂ t)
燃料等の使用	27,269	11,126	14,486
電気事業者から供給 された電気の使用	7,168	4,781	6,299
合計	34,437	15,907	20,785
生産量（千トン）	—	9.0	13.0
原単位	—	1.77	1.60

③令和3年度 排出水の汚染状態測定結果

(1) NO. 1 排水口 (A排水口)

項 目 [単位]	管理目標値 (括弧内数値は日間 平均値での許容限度)	測定値		測定回数	目標値を超過 した測定回数	目標達成判定	法令基準達成判定	
		最大 (PHは 最大 ～ 最小)	平均					
法令排水基準設定項目 (有害物質項目)	1 カドミウム及びその化合物 [mg/l]	0.02 以下	ND		3	0	○	○
	2 シアン化合物 [mg/l]	0.6 以下	ND		3	0	○	○
	3 鉛及びその化合物 [mg/l]	0.08 以下	0.01	0.01	3	0	○	○
	4 六価クロム化合物 [mg/l]	0.30 以下	ND		3	0	○	○
	5 総水銀(水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物) [mg/l]	0.005 以下	ND		3	0	○	○
法令排水基準設定項目 (生活環境項目)	6 水素イオン濃度 (pH) [-]	6.1 以上 8.3 以下	6.8 ～ 6.6	6.7	3	0	○	○
	7 生物化学的酸素要求量 (BOD) [mg/l]	60 (40) 以下	4.9	3.8	3	0	○	○
	8 化学的酸素要求量 (COD) [mg/l]	30 (18) 以下	5.5	4.7	3	0	○	○
	9 浮遊物質 (SS) [mg/l]	20 (15) 以下	8.0	8.0	3	0	○	○
	10 n-ヘキサン抽出物質 [mg/l]	2.5 以下	ND		3	0	○	○
	11 フェノール類 [mg/l]	0.8 以下	ND		3	0	○	○
	12 溶解性鉄 [mg/l]	2 以下	ND		3	0	○	○
	13 溶解性マンガン [mg/l]	4 以下	0.06	0.06	3	0	○	○
	14 クロム [mg/l]	2 以下	ND		3	0	○	○
	15 窒素 [mg/l]	35 (30) 以下	13.0	11.3	3	0	○	○
	16 燐 [mg/l]	0.8 (0.5) 以下	0.04	0.04	2	0	○	○
法令排水基準 未設定項目								

※鉛及びその化合物は、測定3回中2回は検出せず、1回は0.01であったが、測定値平均の記載は0.01としております。

(2) NO. 2 排水口 (B排水口)

項	目	[単位]	管理目標値 (括弧内数値は日間 平均値での許容限度)	測定値		測定回数	目標値を超過 した測定回数	目標達成判定	法令基準達成判定	
				最大 (PHは 最大～ 最小)	平均					
法令排水基準設定項目 (有害物質項目)	1	カドミウム及びその化合物	[mg/l]	0.02 以下	ND		3	0	○	○
	2	シアン化合物	[mg/l]	0.6 以下	ND		3	0	○	○
	3	鉛及びその化合物	[mg/l]	0.08 以下	ND		3	0	○	○
	4	六価クロム化合物	[mg/l]	0.30 以下	ND		3	0	○	○
	5	総水銀(水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物)	[mg/l]	0.005 以下	ND		3	0	○	○
法令排水基準設定項目 (生活環境項目)	6	水素イオン濃度 (pH)	[-]	6.1 以上 8.3 以下	7.7～ 7.0	7.4	3	0	○	○
	7	生物化学的酸素要求量 (BOD)	[mg/l]	60 (40) 以下	0.9	0.8	3	0	○	○
	8	化学的酸素要求量 (COD)	[mg/l]	30(18)以下	3.8	3.4	3	0	○	○
	9	浮遊物質 (SS)	[mg/l]	20 (15) 以下	9.0	4.7	3	0	○	○
	10	n-ヘキサン抽出物質	[mg/l]	2.5 以下	ND		3	0	○	○
	11	フェノール類	[mg/l]	0.8 以下	ND		3	0	○	○
	12	溶解性鉄	[mg/l]	2 以下	0.32	0.21	3	0	○	○
	13	溶解性マンガン	[mg/l]	4 以下	ND		3	0	○	○
	14	クロム	[mg/l]	2 以下	ND		3	0	○	○
	15	窒素	[mg/l]	35 (30) 以下	0.7	0.5	3	0	○	○
	16	燐	[mg/l]	0.8 (0.5) 以下	0.03	0.03	2	0	○	○
法令排水基準 未設定項目										

4. 公害防止対策以外の環境保全活動に係る報告

令和3年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	活動項目	細目	目標	実施状況
1	環境負荷の少ない資材の選択	1) グリーン購入の推進	グリーン商品の検討		事務用品で一部実施
		2) 原材料による負荷量低減対策	都市ガスの効率運転	大気汚染物質の削減	継続中
			排水中の窒素削減	排水窒素自主管理基準30mg/Lで管理	①効率的な生産 ②窒素低減装置稼働中
		3) 再生原料の使用促進	再生紙利用推進		実施中
2	省エネルギー、省資源に資する生産技術	◇工場での取組み			
		1) 省電力	設備の効率運転、夜間電力の利用	電力原単位 前年度比削減	操業度アップにより改善
		2) 省蒸気	蒸気の効率使用	蒸気原単位 前年度比削減	操業度アップにより改善
		◇事務所での取組み			
		1) 節電	照明の管理 冷暖房管理	不在時の消灯 退社時蒸気閉める	実施中
		2) 節水	市水使用量削減	各所場での節水	実施中
		3) 省エネ機器	省エネ機器の導入	省エネ機器の導入	蛍光灯からLEDに変更中
3	廃棄物の適正処理と減量化	◇工場での取組み			
		1) 廃棄物発生量削減	酸液のロス防止の徹底	発生原単位 前年度比削減	廃棄物発生量削減対策にて0.08ポイント改善
		2) 処分場整備と搬入物の管理	産業廃棄物マニフェストの適正管理	電子マニフェストの利用	順次実施中
		◇事務所での取組み			
		1) 事務系廃棄物削減	空缶、紙類の分別回収	回収ボックス整備	分別回収実施中
		2) コピー用紙使用の削減	ミスコピー紙の再利用	各課で徹底	実施中
4	二酸化炭素対策	燃料使用量の削減	燃焼効率向上の検討		検討中
5	水の循環利用の推進	排水の利用	排水一部再利用		実施中
6	自動車対策	マイカー通勤の抑制	登録許可制	許可制の完全実施	実施済
7	従業員環境教育	環境対策の取組み	水質総量規制について	工場自主基準順守	実施済
8	地域の環境保全活動への参画	地域環境対策の取組み	生野地域環境問題懇談会 生野自治会懇談会開催 環境対策協議会開催	11月 12月 3月	コロナ影響により未開催。報告資料のみ提供
9	環境に配慮した施設の整備	地域環境への影響調査と改善対策	環境負荷低減の検討		影響調査実施済 飛瀬法面整備中

以上